

仙台CYニュース



— 復興に向かって Hop Step Jump — vol.1 平成23年10月 宮城県土木部港湾課

平成23年3月11日、仙台塩釜港は東日本大震災により大きな被害を受けました。昨年のコンテナ貨物取扱量が約21万6千TEUと過去最高記録を更新し、さらなる発展が期待されていた矢先でした。

現在、早期復旧を目指して取り組んでおりますが、コンテナヤードの復旧状況をお知らせするために「仙台CYニュース」を発行することとしました。今後、随時情報提供させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

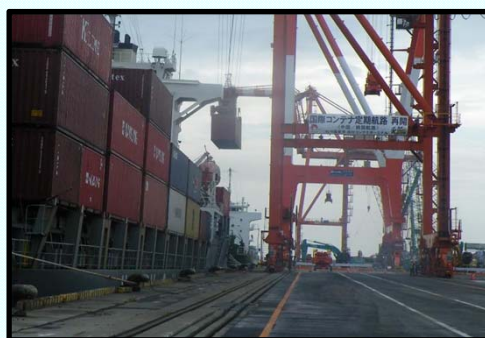
中国／韓国航路 再開

東日本大震災後初となる待望の外貿定期コンテナ航路の寄港が9月30日に再開しました！是非御利用ください！

- ・大連港、青島港や釜山港へのダイレクト航路（週1便）
- ・釜山港経由により中国、ベトナム、タイとの輸出入が可能に！

寄港地

仙台（月）～釜山（木）～蔚山・光陽（金）～大連（土・日）～青島（月）～釜山（水・木）～新潟（金）～苫小牧（日）～仙台（月）



平成23年9月30日外貿定期コンテナ航路再開（南星海運株）

コンテナ復活 内航フィーダー4社サービス再開

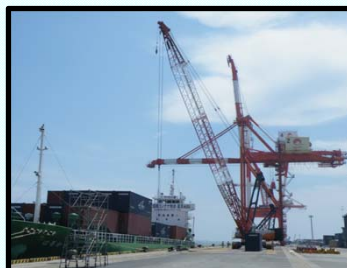
京浜港経由での輸出入が可能に

平成23年6月、震災後初めて輸出貨物を載せたコンテナ船が出航しました。6月には約3,000TEU、7月には約5,000TEU、8月には約7,000TEUと、右肩上がり取扱量が伸びております。

現在は震災以前に入港していた内航フィーダー4社全てのサービスが再開しており、京浜港経由での輸出入が可能となっております。是非御利用下さい！

各社再開日

6月 8日	近海郵船物流株 井本商運株
6月 23日	鈴与海運株
7月 8日	株横浜コンテナライン



平成23年6月8日コンテナ再開

日本初 45フィートコンテナ実用化

輸入企業大募集中

日本で初めて、45フィートコンテナが公道輸送され、9月15日に北米に向けて輸出されました。

現在、仙台塩釜港では45フィートコンテナによる輸出が毎週定期的に行われています！さらなる利用拡大に向けて特に輸入で45フィートコンテナを利用する企業を募集しています。関心のある方はお問い合わせください。



平成23年9月15日45ftコンテナ荷役

ガントリークレーン供用再開



平成23年9月5日ガントリークレーン供用再開

東日本大震災により、高砂コンテナターミナルに設置されているガントリークレーン（GC）4基について全て使用不能となっておりましたが、平成23年9月5日にそのうちの1基（2号機）が供用を再開しました。

残り3基のガントリークレーンについても、順次供用を再開します！

復旧スケジュール（予定）

GC4号機	11月中旬稼働
GC1号機	12月上旬稼働
GC3号機	3月末稼働

放射線量・放射能を測定しています

東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質流出を受け、外国船舶の寄港に懸念が寄せられていることから、平成23年5月18日から放射線量・放射能を測定し、仙台塩釜港が安全であることについて確認しています。また、10月1日からはコンテナ表面の放射線量についてサンプリング調査をしております。測定結果については、宮城県土木部港湾課のホームページにおいて随時更新しています。

【放射線量等の測定結果はこちら↓】

<http://www.pref.miyagi.jp/kouwan/kousei/housyano.html>

<この記事に関するお問い合わせ>

宮城県土木部港湾課振興班 仙台市青葉区本町3-8-1

Tel : 022 (211) 3221 メール:kousin@pref.miyagi.jp

<http://www.pref.miyagi.jp/kouwan/>

